

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO. 193

2017年12月17日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

コメの直接支払交付金の復活、「水と土の芸術祭」への市負担の減額を求める

―日本共産党市議団 倉茂政樹議員―



倉茂政樹議員

倉茂政樹議員は、12月13日、①2018年度から米の直接支払交付金が廃止される影響について②水と土の芸術祭について③市内JR駅の駐輪場整備について―の3項目について一般質問を行いました。

直接支払交付金の復活を国に強力求めるべき

倉茂議員は、農業従事者の減少と高齢化、農業産出額や農業所得の減少など今日の農業問題の根本には、長年の自民党政権が主食である米の生産・需給についての責任を放棄してきた結果があると指摘しました。

来年度から米の直接支払交付金が廃止されれば、市内農家の収入が約10億円減少するだけでなく、市税収入や地域経済に与える影響も甚大だとし、市は

米価を安定させる需給調整と直接支払交付金の復活を国に強力求めるべきだと迫りました。

「水と土の芸術祭」への市の負担の見直し・減額を求める

来年7月～10月に開かれる「水と土の芸術祭2018」の事業費は2億7千万円、そのうち2億5千万円を市が負担するとしています。

倉茂議員は、来年度の予算編成において119億円も財源が不足するというのであれば、水と土の芸術祭への市の負担も見直し、減額すべきだと迫りました。

給食食べた児童も芸術祭の参加者にカウント

また、前回(15年)の芸術祭では、1人が4か所の展示会場を回れば「4人」とし、「みずつち給食」を食べただけの児童・生徒もカウントしたが、動員数を大きく見せるような数え方を今回もするのかと迫りました。

文化スポーツ部長は「給食の数は芸術祭の参加者に含めるが、観光入り込み客数からは除外して

カウントしたい」と答弁しました。

芸術祭への協賛金の目標はわずか800万円

市は財政状況が厳しいとして、助成金や協賛金の確保、販売収入の増額に努めるとしていることから、倉茂議員は「協賛金の目標額はいくらか」と質問しました。

文化スポーツ部長が「800万円を見込んで」と答弁したため、倉茂議員は「2億5千万円のうちの、たった800万円か。やはり(芸術祭の)規模を縮小すべきだ」と指摘しました。

芸術祭後の利用が不明確なメイン会場に7億8千万円も

倉茂議員は、水と土の芸術祭のメイン会場には万代島旧水揚場があてられているが、7億8千万円もかけて整備するのに、芸術祭後の使い道が不明確だと指摘。維持



管理経費や収支見込み、需要予測、費用対効果、利用数や通行量の予測などは検討されたのかと迫りました。

都市政策部長はまともに答えられず、「20を超える団体から(芸術祭後の)利用の意向を確認している」との答弁にとどまりました。

荻川駅東口の駐輪場整備を

倉茂議員は、JR荻川駅東口の自転車置き場として使われている土地をJRから購入または借り上げて、屋根、舗装、ラックのある駐輪場として整備し、利用者の利便を図るよう求めました。

秋葉区長は「東口には多くの自転車利用の実態があり、暫定的な駐輪場整備の必要がある」と答弁。「暫定的整備とは何か」との倉茂議員の問いに対し、「少なくとも舗装と(駐輪場の)区画整理」と答えました。

12月議会の日程

- 12月18日(月) 各常任委員会(請願・陳情)
歯科議連の勉強会
- 12月19日(火) 各常任委員会(採決)
市政調査会研修会
- 12月20日(水) 各特別委員会
- 12月22日(金) 議会運営委員会
本会議(採決)